



今日のキーワード『参議院選挙』、与党勝利も改憲議席には届かず

『参議院選挙』は21日投開票され、与党（自民党、公明党）が71議席を獲得し、改選過半数の63議席を上回りました。与党勝利で、安倍首相は引き続き安定した政権基盤の下で、政権を運営することになります。一方、与党に日本維新の会を合わせた改憲に前向きな勢力は、憲法改正の国会発議に必要な参院の3分の2に達する、85議席には届きませんでした。この結果は株式市場の安心材料とみられます。

ポイント1 与党が改選過半数で勝利

- 21日投開票された第25回『参議院選挙』で、自民党は57議席、公明党は14議席と、与党が71議席を獲得し、124の改選議席の過半数である63議席を上回りました。自民党の二階幹事長らが設定した目標の「与党で改選過半数」を達成したことから、安倍政権は求心力を維持するとみられます。
- 野党側は、立憲民主党が17議席を獲得し改選前の9議席から大きく議席を伸ばしました。また、日本維新の会は10議席と改選前の7議席を上回り、東京と神奈川で初めて議席を獲得しました。一方、国民民主党は6議席、共産党は7議席と議席を減らし、社民党は1議席と伸び悩みました。

ポイント2 改憲勢力は3分の2に届かず

- 『参議院選挙』の主な争点は、消費増税、年金制度、憲法改正でした。野党は、政府が10月に予定する消費増税への反対で足並みをそろえました。また、老後資産に2,000万円が必要とした金融庁審議会の報告書に絡み、年金への不安を指摘し、見直しを求めましたが、大きな支持を得られませんでした。
- 一方、安倍首相の悲願である憲法改正の国会発議に必要な参院の3分の2を得るために、憲法改正に前向きな勢力で85議席を獲得できるかどうか注目されました。与党と日本維新の会を合わせた議席数は81議席にとどまり、85議席に届きませんでした。

改選過半数で
与党勝利

改憲勢力は
2/3に届かず



今後の展開 安倍政権の安定は株式市場の安心材料

- 今回の『参議院選挙』で安倍首相は国政選挙での6連勝を果たしました。安倍政権は求心力を維持すると共に、政権への信任を得たとして、今後消費増税や憲法改正論議などに取り組むとみられます。
- 『参議院選挙』の結果は概ね事前の予想通りであり、22日の株式市場は小動きとなりました。ただ、与党が勝利する一方、改憲勢力が3分の2に届かなかったという結果は、アベノミクスが継続すると共に、改憲の国会発議のハードルが高まったことで強引な改憲論議が進展せず、政権が安定しやすいという観点で、株式市場にとっては安心材料と考えられます。

ここも
チェック！ 2019年7月11日 『参議院選挙』のポイントは？
2019年7月 8日 当面の日本株を『需給関連指標』から見ると？

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。